

## 「事業の概要及び測量等の実施に関する説明会」質疑応答の概要 (平成21年12月14日(月)三鷹市立北野小学校)

本資料は平成21年12月14日(月)三鷹市立北野小学校で開催された「事業の概要及び測量等の実施に関する説明会」での質疑応答の概要を国土交通省東京外かく環状国道事務所が取りまとめたものです。

### 質問者

- ・ 地下水への影響や地質学的な調査の結果はどうか。

### 回答者

(国)

- ・ 地下水への影響は、環境影響評価において地質調査を実施し、ボーリング調査の結果などを踏まえて予測評価している。また、地下水流動保全工法を採用することにより、地下水への影響については小さいと考えている。なお、今後地下水のモニタリングなどを実施し、その効果を検証する。必要に応じて追加の保全措置を検討する。

### 質問者

- ・ 事業の施行主体は誰か。
- ・ 事業の具体的なスケジュール、予算や事業費はどうなっているのか。
- ・ 地元住民は、飲み水への影響が不安であるが見解はいかがか。

### 回答者

(国)

- ・ 2009年4月の国幹会議を経て決定した整備計画では、施行主体は、国または高速道路会社とされており、直轄事業と有料道路事業の合併施行方式で検討されていた。現在、施行主体、事業手法については検討中である。
- ・ 事業スケジュール、来年度予算ともに現時点では未定である。
- ・ 外環の関越から東名までの概算事業費は、約1.28兆円と想定している。これは、新技術の導入や他の路線のコスト縮減の実績を踏まえて、国が算定したものである。今後、競争性の高い契約方式の採用や、合理的な施工方法の採用など、さらなるコスト縮減に努める。
- ・ 皆様が地下水について心配していることは認識しており、地質調査や地下水調査を実施し設計に反映していく。

### 質問者

- ・ 中央ジャンクション周辺において、相続で手放される農地が宅地化され緑が減らないよう、農地の代替地として国や都が積極的に先行取得することは可能か。

**回答者**

(国)

- ・ 「対応の方針」で、農地の代替地の確保、幹線および情報提供に関する仕組みづくりの検討について示しているところであるが、今後も関係機関で調整を図りながら、対応を検討する。

**質問者**

- ・ 事業説明会の法的位置づけはあるのか。
- ・ 補正予算の9割が執行停止となり、来年度の予算も不透明でありながら事業を進めるのか。
- ・ 環境への対応について、「対応の方針」は泥縄式であり、住民は納得出来ないのではないのか。

**回答者**

(国)

- ・ 本日の説明会は、法的位置づけのあるものではない。今後実施する測量、地質調査などの内容や事業の概要について説明する目的で開催している。
- ・ 来年度予算は現時点では未定である。事業者として皆様の不安を解消できるように対応する。
- ・ 工事や供用後の環境への影響について事後調査を実施し検証する。今後、事業の各段階で、引き続き皆様のご意見を頂きながら詳細に検討する。

**質問者**

- ・ この土地で生きていく人間の気持ちをどのように受け止めているのか。

**回答者**

(国)

- ・ 事業者として、皆様の不安や不満の気持ちをしっかり受け止めたい。皆様の不安や不満などを解消できるように、事業の中で対応するとともに、しっかり説明責任を果たしていく。

**質問者**

- ・ 自動車の排気ガスが人の健康に与える影響などについて、住民は心配している。高井戸インターチェンジの下り入口が開設されずに、東八インターチェンジを開設することは考えられない。東八インターチェンジを高井戸インターチェンジと同じ条件にすべきである。環境に影響が無いことが検証されるまで暫定形としての利用形態を考えてほしい。

**回答者**

(国)

- ・ 高井戸インターチェンジ下り入口については、東八道路インターチェンジに交通が集中しないように整備を進める必要があると考えている。
- ・ 現在事業中の放射5号線の整備状況を踏まえ、地域の皆様との合意形成を図り、早期に整備されるよう働きかけていきたい。

以上